

ESDの視点における美術教育

～持続可能な社会づくりにおいて美術が果たす役割を考えるを通して～

松山市立東中学校 眞柴さなえ

①研究の背景

・学習指導要領の変容
技術を高める作品制作
↓
情操を高める美術教育を
これからの社会に美術は必要である。

・ESDの学習理論
持続可能な社会をつくるための教育
↓
社会の問題を自分事として捉え
↓
自分なりの解決方法で
↓
社会に返す

社会と美術は大いに関係している!

②予想やねらい

身近な自然のよさや松山のよさを感じながら制作に取り組むことにより、美術が社会や生活をよりよくしていくものであるということに気付くことができると考えた。



家庭科郷土料理とコラボ!!

④結果

木を使って鯛めし(宇和島)を作ったので食べたのですが思ったほど木がごつごつしておらず、口に含んだ時に木のぬくもりと香りを感じて見た目もとても色鮮やかになって金属系のスプーンにくらべて少し軽いのので扱いやすくこれからも積極的に使いたいと思います。



③方法



愛媛産のひのきを使って、木材屋、木工の専門家と関わりながら愛媛の命と向き合い、伝統工芸にも触れていく。昔から伝わるものを未来の生活スタイルに合わせながらも受け継いでいく活動。

美術は鑑賞するのもしょうだし、人々に影響を与え、また、縄文土器も美しい模様があることから昔から今までつながっていると思うから、美術は社会に役に立っていると考えます。人々にとって使いやすいさを考えた美術と、見て楽しむために考えられた美術があると思います。



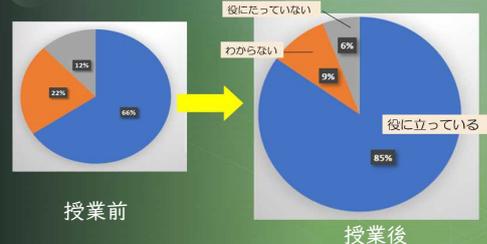
【単元構想】

媛すぎ・媛ひのきについて知り、愛媛の魅力を理解する。
↓
木材店の方の話を聞き、木の魅力について関心をもつ。
↓
自分の疑問について調べる
↓
木の魅力を生かして、愛媛産のひのきを使ってスプーンをつくる。
↓
使いやすい形を考え、制作をする。
(木工の専門家にアドバイスをいただく)
↓
くるみを砕いて出たオイルを塗布して仕上げる。
↓
実際に使ってみる。
↓
新聞にまとめる
↓
新たな課題【使いやすさを追求したい!】

⑤考察

木々が持つよさや美しさについての実感的・概念的な理解が深い学びにつながり、さらにわたしたちが生活している地域に生育するひのきを使用することで、生徒に地域や伝統文化に興味をもち、理解を深めることができた。

美術は、社会の役に立っていると思うか。



美術が社会や生活をより良くしているものであることに気付くことができた。